



新世紀岡崎委員会 会長
岡崎市長 内田 康宏

市制100周年を迎えた 郷土への愛着を

本市は、愛知県の中央部に位置し、徳川家康公生誕の岡崎城を始め、数多くの貴重な歴史的・自然的資産を有しています。大正5年(1916年)7月1日に県下で3番目、全国で67番目に市制を施行し、平成15年には中核市に移行しました。平成18年には隣接する額田町と合併し、面積387・20km²、人口は38万人を超え、西三河の教育、文化、産業等の中心都市として現在も着実に発展を続けています。

本市は、平成28年(2016年)7月1日に市制施行100周年を迎えました。これを記念し、固有の歴史や伝統などを市の「たから」として受け継ぎ、ともに暮らすみんなで「かがやき」を創造し、明日への「きぼう」に繋げていくことをテーマに、市制100周年記念事業全体を「新世紀岡崎飛躍祭(100歳)」として様々なイベントを実施しています。

市制施行100周年は、市の成長過程における

1つの節目であります。岡崎らしさを新時代へ継承するとともに、これまで先人が積み重ねてきた歴史を振り返り、次の100年を見据え、更なる発展へ向かっていく契機としていきます。

市制100周年記念事業のひとつである「岡崎まちものがたり作成事業」は、総代会連絡協議会の全面的な協力のもと、47小学校区の総力を基に編集を行いました。先人の築きあげてきたこれまでの歩みについて写真を中心に振り返り、市制100周年時における地域の自慢などを市内外へ伝える記念誌として、ここに発行いたしました。地域を改めて見つめ直し、岡崎について一層の理解を深め、愛情を持って次の岡崎に引き継いでいただければ幸いです。発行に向けご尽力いただいた各学区まちものがたり作成委員会の皆様に対しましては、深く敬意と感謝を申し上げます。

これからも、次世代を担う子どもたちが、ふるさとに愛情と誇りを持つことのできる「夢ある新しい岡崎」の実現を目指していきます。そして、誰もが、訪れたい、住んでみたいと思う賑わいある活気に満ちたまちづくりに取り組み、本市の新世紀における飛躍につなげてまいります。

「岡崎まちものがたり」の 発行にあたり

岡崎市は、大正5年の市制施行以来、多くの町や村と合併して発展を遂げてきました。このような歴史的な背景を踏まえ、「地域愛の醸成」を高める事業として、地域への愛着や誇りを高めるきっかけに、総代会連絡協議会を中心に、47ある小学校区ごとに地域において積み重ねてきた歴史や文化、逸話や自然、景観などの「地域の自慢」を一冊の本「岡崎まちものがたり」にまとめ、市制100周年時の情報を次代に引き継ぐことを目的に実施しました。

当市のコミュニティの活動単位は、小学校区を単位とした学区を核としています。「学区」を「まち」として捉え、47学区における宝等を「ものがたり」のように代々語り伝えるべきものとして、「岡崎まちものがたり」と表現いたしました。

地域の価値ある事物が多くありますが、頁数の制約があるなかで、各学区の特色を表した厳選し

た内容になっていると思われれます。特に、地域コミュニティ活動を掲載している学区もあります。人と人との繋がりが希薄化している中、この素晴らしい活動を次代の方が継承して、人と人との繋がりを大切にしていただきたいと思います。なお、諸説ある歴史的謂われや、地域独自の通称名などで表現している箇所もあるかと思いますが、学区の宝として残したいものを純粹に掲載しております。

この記念誌をもとに、各学区にご興味をもっていただき、更に岡崎市を深く知り、愛着をもっていただけたら幸いです。

最後に、各学区の作成委員の方、ご協力をおたきました方々に感謝の意を表し、発行のあいさつの言葉といたします。

新世紀岡崎委員会 岡崎まちものがたり作成部会 部会長
岡崎市総代会連絡協議会 会長 神尾 明幸

